

【参考資料】

木更津市史編集部会調査等進捗報告

部会名	考古部会	部会長名	加藤修司
平成 29 年 4 月から平成 29 年 12 月までの実施内容・進捗状況	<p>各時代担当者が、遺跡発掘調査報告書の所在の確認、内容の精査等の作業を実施。</p> <p>29 年 8 月 26 日（土）考古部会全体会議開催。</p> <p>各時代担当者から上記活動計画に基づき、それぞれの原案、具体案の一部を提示し、遺跡発掘調査報告書の所在の確認、内容の精査等の作業を実施。</p> <p>旧石器時代～中世までの遺跡の抽出、遺構、遺物等再確認作業、遺跡報告書、遺構の写真、遺物の所在場所の確認、特色ある遺構・遺物の抽出作業。</p> <p>中世は城郭等の現地での予備調査一部終了。</p> <p>各時代の章立ての原案作成。</p> <p>木更津市の電子地図（jpeg）（遺跡地図）の原版作成。</p> <p>各時代の「遺跡一覧表、台帳」の原案作成、提示。</p>		
平成 30 年 1 月から平成 30 年 3 月までの調査等予定・見込み	<p>2 月 12 日に考古部会の本年度第 2 回全体協議を行う。</p> <p>「遺跡一覧表」について各時代共通仕様による掲載が必要と思われ、原案について意見を出し合う。</p> <p>遺構、遺物の挿図、写真の作成方法についてデジタルによる作成を原則とするためその方法について検討する。</p> <p>原稿割り付けの再確認</p> <p>事務局が提示した執筆要項に基づくひな型を再確認する。</p> <p>加藤が作成した木更津市電子地図原版を提示し、今後の遺跡地図作成方法について協議する。</p>		
これまでの取組に係る課題点・懸案事項	<p>時代によって（弥生時代など）は遺跡数が多すぎ、どのように編集、掲載すべきなのか、統一見解が取りづらい。</p> <p>遺構、遺物の挿図は、既刊の遺跡調査報告書が基になるが画質の悪いものが多く、コピーやスキャニングが難しいが、再実測やトレスは不可能である。</p> <p>遺構、遺物の写真についても同様であり、再撮影が必要となる場合が多く、時間や手間暇がかかりすぎる。</p>		
平成 30 度の活動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.史料編の旧石器時代～古代までの「遺跡一覧表、台帳」について共通仕様での作成。 2.史料編の挿図、写真図版の再編集、再撮影とデジタル化への試行。 3.中世は現地での詳細調査(実測、銘文調査、写真撮影等)の開始。 4.木更津市の電子地図の原版に各時代の遺跡位置、範囲を確定してデジタル技術により線引きしていく。 		

【参考資料】

木更津市史編集部会調査等進捗報告

部会名	古代部会	部会長名	河名 勉
平成 29 年 4 月から 平成 29 年 12 月までの 実施内容・進捗状況	<p>5 月 13 日 編集部会説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代部会第 1 回。古代史料編の活動計画案の検討 <p>6 月 10 日 古代部会第 2 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『千葉県史資料編古代』3～52 頁を基礎に採録史料の選択作業 ・「馬來田」「望多」「望陀」表記考の検討 <p>7 月 22 日 古代部会第 3 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『千葉県史資料編古代』53～102 頁を基礎に採録史料の選択作業 ・「望陀布の使途」の検討 <p>8 月 19 日 古代部会第 4 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『千葉県史資料編古代』103～152 頁を基礎に採録史料の選択作業 ・「親王任国制」の検討 <p>9 月 24 日 古代部会第 5 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『千葉県史資料編古代』152～202 頁を基礎に採録史料の選択作業 ・「平将門の乱」の検討 <p>10 月 28 日 古代部会第 6 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『千葉県史資料編古代』203～252 頁を基礎に採録史料の選択作業 ・「上総国の文書伝達」の検討 <p>11 月 19 日 古代部会第 7 回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『千葉県史資料編古代』253～302 頁を基礎に採録史料の選択作業 ・「上総国藤瀨駅に関する考察」の検討 		
平成 30 年 1 月から 平成 30 年 3 月までの 調査等予定・見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・12 月分の古代部会（第 8 回）は、平成 30 年 1 月 6 日に実施された。 ・今後も 1 月から 3 月まで、古代部会を月に 1 回開催し、採録史料の選択作業を進める予定である。予定通り実施されれば、「採録作業の選択作業は」は約 1 年間で終了することが見込まれる。 ・平成 30 年 4 月以降の活動「入稿原稿の作成作業」の進め方を検討する。 		
これまでの取組に係る 課題点・懸案事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「墨書土器」関係は、考古部会の採録でよいか。 ・採録は源頼朝が挙兵する前の 1179 年までを古代、1180 年から中世でよいか。 ・造本要領について。『千葉県史資料編古代』の成果を引き継ぎ、編年資料では A4 版 2 段組、頭注を付けることで進めているがよいか。中世は「A4 版 2 段組」はよいとしても、頭注は付けない可能性が高いと思われる。 ・考古部会・中世部会との調整が必要と思われる。 		

【参考資料】

平成30年度の活動計画	<p>古代史料編の活動計画案は、次のとおりである。</p> <p>1年目 採録史料の選択作業</p> <p>2～5年目 入校原稿の作成作業（採録史料を原史料から作成し、内容を検討し、採録範囲と頭注の作成）。「史料」の解題作成。</p> <p>6年目 校正作業</p> <p>平成30年度の活動は、1年目の採録史料の選択作業を終えて、2年目からの入稿原稿の作成作業を進める計画である。併せて、史料に関連する研究成果の検討作業も進める。</p>

【参考資料】

木更津市史編集部会調査等進捗報告

部会名	中世部会	部会長名	滝川 恒昭
平成 29 年 4 月から 平成 29 年 12 月までの 実施内容・進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・資料所在のデータ作り（5割程度） ・研究文献の目録作成と収集（3割程度） ・調査候補地の選定（6割程度） ・神奈川県立金沢文庫にて、新発見の「木更津（木佐良津）」地名がみえる聖教奥書等の調査。 ・木更津市郷土博物館金のすずの特別展「木更津の中世」に合わせて展示資料の検討と、博物館所蔵資料の調査。 		
平成 30 年 1 月から 平成 30 年 3 月までの 調査等予定・見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・2月に郷土博物館所蔵・保管資料の調査、合わせて第3回の中世部会開催の予定。 ・時代区分の割り当てにしたがって、部会員各自で基礎データ作りを行い、それに基づき優先的な調査地を選定していく予定。 		
これまでの取組に係る 課題点・懸案事項	<ul style="list-style-type: none"> ・資料所在目録を含め、中世の木更津に関する基礎的データが全くない。 ・市内寺社調査の日程が調整できない。 ・調査依頼を事務局 ・市内調査の際事務局帯同について。 ・県外調査の旅費が確保できるか。 ・部会発足が他の部会より遅く、しかも基礎データが無いにも拘わらず、刊行計画では資料編刊行予定が早いために、基本計画の見直しも視野に入れて欲しい。 		
平成 30 度の活動計画	<p>中世史部会では、資料編刊行にむけて下記のごとく資料収集の方針をきめたが、その方針に沿って、30年度からは具体的な活動に入る予定である。</p> <p>★収録予定資料（古文書・記録・仏像・仏具・棟札・石造物等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に残された中世資料 ・中世の木更津に係る資料 ・上総武田氏関係資料 ・上総鋳物師関係資料 ・中世江戸湾交通の関係資料 ・上総における里見氏関係資料 <p>これらに関する資料を全国的視野で悉皆的に収集し、収録することを目指している。</p> <p>そのために、新年度からは市内の個人宅・寺社をはじめ、その対象を県内・県外の個人・寺社・資料所蔵機関に広げて調査を実施する予定である。</p>		

【参考資料】

木更津市史編集部会調査等進捗報告

部会名	近世部会	部会長名	小関 悠一郎
平成 29 年 4 月から平成 29 年 12 月までの実施内容・進捗状況	<p>金田地区資料収集調査（金田公民館収蔵資料調査、同地区 K 家・O 家訪問調査を実施）</p> <p>富来田地区資料収集調査・資料整理（真如寺・下郡 S 家・田川 S 家）</p> <p>鎌足地区資料収集調査（鎌足公民館訪問調査を実施）</p> <p>市立図書館所蔵和本調査（中央大学・一橋大学調査チームと合同調査を実施）</p> <p>郷土博物館金のすず収蔵資料調査</p> <p>市原市龍溪寺林家墓所調査</p> <p>石造物所在確認調査（近世墓標中心、市内 64 地点）</p> <p>真舟地区資料収集調査（長楽寺）</p>		
平成 30 年 1 月から平成 30 年 3 月までの調査等予定・見込み	<p>木更津地区・S 家 八剣八幡神社資料確認調査、I 家文書整理</p> <p>富来田地区・下郡 S 家の資料整理、田川 S 家の目録作成・写真撮影作業完了、諸家資料所在確認調査</p> <p>中郷地区・T 家(3 家) 有吉区有 有吉行人宿 M 家 資料確認調査</p> <p>真舟地区・I 家等 資料確認調査</p> <p>市立図書館所蔵和本調査・整理</p> <p>石造物所在確認調査・本調査</p>		
これまでの取組に係る課題点・懸案事項	<p>富来田地区等を中心に整理作業の必要な新出史料が見出されるとともに、資料の所在情報も集まりつつある。また、30 年度には墓地の本調査を行う予定である。そのため、調査・整理にかかる作業要員を十分に確保する必要がある。</p> <p>地区によって把握できている史料の量にばらつきがある。体制面を含めた対策が必要である。</p> <p>複数の部会を兼任する委員については、各部会の状況や動き方が異なるため、何らかの配慮の検討が望まれる（特に石造物）。</p>		
平成 30 度の活動計画	<p>中郷・富来田・真舟・木更津各地区の資料所在確認・収集調査</p> <p>収集済資料の目録作成・写真撮影</p> <p>市内石造物調査</p> <p>市内建造物調査</p> <p>千葉県文書館収蔵資料調査</p> <p>木更津市立博物館金のすず収蔵資料調査</p>		

【参考資料】

木更津市史編集部会調査等進捗報告

部会名	近現代部会	部会長名	池田 順
平成 29 年 4 月から平成 29 年 12 月までの実施内容・進捗状況	<p>千葉県文書館収蔵の総合教育センター資料中、木更津市域に関する資料の調査・撮影を行った（8割程度終了）。</p> <p>旧金田村役場文書の撮影資料の選定と撮影を行った（8割程度終了）。富岡公民館所蔵の旧富岡村役場文書の撮影資料の選定と撮影は終了。田川 S 家所蔵資料の目録作成、撮影資料の選定と撮影を行った（9割程度終了）。</p> <p>木更津一小の撮影資料の選定と撮影は終了。</p> <p>郷土博物館金のすず収蔵の梶家資料について、撮影すべき資料の選定と撮影を行った（8割程度終了）。</p> <p>鎌足地区と富来田地区の実地調査を行った。</p> <p>M.S さんと Y.W さん、E.K さん、S.K さんの聞き取り調査を実施した。</p> <p>渡邊部会委員を中心に歴史的建造物の実地調査を実施した。</p> <p>木更津市立図書館収蔵の山崎家文書、長沢文庫の目録作成、撮影資料の選定と撮影を行った（終了）。K 家文書の目録作成を行った（5割程度終了）。</p> <p>君津市立図書館収蔵の君津市史編さん室収集資料中、木更津関係資料の選定・撮影を行った（5割程度終了）。</p> <p>下郡 S 家資料の保存状況の確認、資料の整理・袋詰めを行う。</p> <p>市街地の商店等の資料調査を行った。</p> <p>金田地区・桜井地区の戦争遺跡調査を行った。</p> <p>M.H さん、T.I さん、H.H さんの聞き取り調査を実施した。</p>		
平成 30 年 1 月から平成 30 年 3 月までの調査等予定・見込み	<p>千葉県文書館収蔵の総合教育センター資料中、木更津市域に関する資料の調査・撮影を行う。</p> <p>金田公民館収蔵の旧金田村役場文書の撮影資料の選定と撮影を行う。</p> <p>田川 S 家所蔵資料の撮影資料の選定と撮影を行う（終了の見込み）。</p> <p>郷土博物館金のすず収蔵の梶家資料について、撮影すべき資料の選定と撮影を行う（終了の見込み）。</p> <p>下郡 S 家資料の資料番号付けを行う。</p> <p>I 店所蔵資料の袋詰め・目録作成等を行う。</p>		
これまでの取組に係る課題点・懸案事項	<p>地区の実地調査が特定の地区に片寄っている。地区の実地調査の範囲をもう少し広げる必要がある。そのためには、各地区における資料の保存状況に詳しい方々や、その地域の歴史を学んでいる研究グループなどとの協力・連携を深めなければならない。</p> <p>潮見庁舎倉庫保管の木更津市役所文書の撮影資料の選定と撮影ができるよう関係部署との交渉・手続を進める必要がある。</p> <p>木更津市立図書館の館外に別置されている富来田地区行政文書を図</p>		

【参考資料】

	<p>書館または恵春庵に移してほしい。</p>
<p>平成30年度の活動計画</p>	<p>千葉県文書館収蔵の総合教育センター資料中、木更津市域に関する資料の調査・撮影 金田公民館収蔵の旧金田村役場文書、家文書の撮影資料の選定と撮影 旧千葉県史料研究財団が撮影しプリント済みの木更津市役所文書（千葉県文書館所蔵）の借用と複写 潮見庁舎倉庫に保管されている木更津市役所文書の撮影資料の選定と撮影 木更津市立図書館収蔵（別置）の富来田地区行政文書の目録作成、撮影資料の選定と撮影 木更津市立図書館収蔵の家文書の目録作成、撮影資料の選定と撮影 下郡S家所蔵資料の目録作成、撮影資料の選定と撮影 I店（貝渕）所蔵資料の目録作成、撮影資料の選定と撮影 S商店（新田）所蔵資料の目録作成、撮影資料の選定と撮影 真里谷野村家所蔵資料の目録作成、撮影資料の選定と撮影 市内小中学校所蔵資料の調査、 漁業関係資料の調査 桜井地区等の資料調査 聞き取り調査 歴史的建造物の実地調査 新聞資料の収集</p>

【参考資料】

木更津市史編集部会調査等進捗報告

部会名	民俗部会	部会長名	和田 健
平成 29 年 4 月から平成 29 年 12 月までの実施内容・進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・桜井地区諏訪神社例大祭獅子舞に関わる調査 ・金田地区梵天立ての参与観察と記録。金田地区における漁法に関わる聞き取り調査(2割程度調査済) ・木更津地区八剱八幡神社の祭礼組織および祭礼運営に関わる聞き取りおよび参与観察(8割程度調査済)。町会の運営に関わる調査。同地区の社会組織に関わる調査(5割程度調査済) 		
平成 30 年 1 月から平成 30 年 3 月までの調査等予定・見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・木更津地区祭礼調査で発見したテーマについて調査を広げていく。 ・木更津地区の説話、伝説に関わる調査活動を行う。 ・金田地区の地理的状況をマッピング記録する活動をすすめる。 ・活動計画から遅れての調査計画となる。 <p>活動計画の達成率 3 割程度となる見込みである。</p> <p>可能であれば歴史および民俗に関わる専門的知識のある部会メンバーが市史編さん室に常駐し、調査活動の迅速性を確保したい。</p>		
これまでの取組に係る課題点・懸案事項	<ul style="list-style-type: none"> ・金田地区の漁業環境に関わる民俗慣行の調査が遅れているので、来年度集中的に行いたい。 <p>市民個々人のライフストーリーをベースにした聞き取り調査が十分ではない。今後集中的に行いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神社関係の調査では、近世文書含めて近世史部会との調整が必要になる。今後打ち合わせをしていきたい。 ・石造物関連の調査に関しては、既存の調査資料の活用がどれほど可能か、各部会と連携したい。 		
平成 30 度の活動計画	<p>木更津地区、金田地区における聞き取り調査および報告書執筆着手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木更津地区においては、神社寺院に関わる信仰および組織の調査。また獅子舞、お囃子の実態調査の集成 ・金田地区においては、漁業を中心とした民俗慣行に関わる調査 ・千葉大学工学研究院植田憲研究室の観光資源の活用を目指した調査と協業し、民俗文化財のマッピングについて作業を行う。 ・木更津地区調査報告書の目次構成を固め、調査と執筆が連動していく体制をつくる。 		

木更津市史編集部会調査等進捗報告

部会名	自然部会	部会長名	山田 真
-----	------	------	------

<p>平成 29 年 4 月から 平成 29 年 12 月までの 実施内容・進捗状況</p>	<p>環境分野 浸透実験池の水質調査は 4～6 月までの採水が終了。調査は 8 割終了。 データのまとめと解析および執筆は 5 割程度。 航空写真等を用いた盤洲干潟のヨシ群落拡大過程の調査（調査は 7 割 終了。現状植生はデータのまとめと執筆は 5 割程度。 横水路の底生生物調査（3 割程度終了）。 下調べ&下見を 4 月より開始、現在までに予備調査 1 回、本調査を矢 那川河口で 1 回実施。</p> <p>地学分野 ・下総層群上部（清川層・横田層・木下層・姉崎層）および関東 ローム層中のテフラ鍵層の所在の調査を行い、柱状図の作成、写真撮 影するも、これら各層の分布はおもに市街地地域であり、露頭が少な く遅々として進まず。 また、下総層群上部（清川層、横田層、木下層）に挟在するであろう テフラ鍵層の所在を確認・記載し、写真撮影する。これらの地層は市 街地地域のため、その所在調査はきわめて困難であり、いまだその 6 割程度の状況。（下部層（地蔵堂層、藪層、上泉層）については、ほぼ 完成。 ・市域の地層各論については、上総層群笠森層（笠森層プロパーおよ び万田野砂礫層、養老砂層）と金剛地層についてはほぼ済。</p> <p>動物分野 ・両生類：種リスト完成、分布は 6～7 割調査済。 ・爬虫類：種リスト完成、分布は 5～6 割調査済。 ・鳥類：種リスト完成、観察調査継続中。 ・魚類は矢那川、畑沢川河口部、伊豆島平川、平地の農業用水路を重 点的に調査した。現地調査としては約 7 割終了。 ・昆虫 昆虫類の市内の全地区で現地調査を実施、バッタ類の普通種はほぼ採 集済、セミ類は全種確認済、カマキリ類、アメンボ類、チョウ類、ト ンボ類、ハチ類、その他普通に見られる主なものは確認済。 ・木更津市内と隣接地域に関連する千葉県生物誌及び房総の昆虫の 全巻、木更津市内の環境評価書などの文献リスト作成終了。 セミ種リスト完成 クマゼミの分布 3 割程度済。 バッタ類 種リスト（仮）の作成終了、種リストは 6～7 割済。 甲虫 種リストの作成開始。 カメムシ 種リスト作成開始。</p>
--	--

【参考資料】

	<p>トンボ類・チョウ類の確認種数は現地調査で予想の6～7割、文献調査と合わせて8～9割を達成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハチ類・止水生昆虫・小型哺乳類の本格的な調査は今後の課題。 ・鳥類、魚類の過去の未発表データ（2004～2015年分）のうち重要なもの、補完的に利用できる情報を追加した（残り3割）。 ・文献調査では、木更津市内ハゼ亜目のリストをまとめた（完了）。 ・干潟動物、水生動物、小型哺乳類の補完調査。 ・文献調査をアセス関連書で行った。 ・木更津市立図書館所蔵の文献リストの作成。 ・「千葉県の動物・植物文献目録」の木更津地区に関する電子データの市史での利用方針の検討。 <p>植物分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央博との合同調査を5回実施した、調査済地域は前年分と合わせて5～6割程度。 ・太田山の「あゆみ」の調査以後に芽生えたと思われる照葉樹、芝生広場の草本調査。 ・春彼岸の頃の浸透実験池外場の植物調査。 ・矢那川土手、田川・佐野の植物調査。 ・市域の貴重植物のリスト作成中。 ・Y-Listを用いた種リストの作成中。 ・市内真里谷、大久保、高倉、茅野、山本七曲、茅野七曲の常緑性シダ植物の生育状況調査。
<p>平成30年1月から平成30年3月までの調査等予定・見込み</p>	<p>環境分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内河川水質の変遷まとめ。 ・河道，海岸変遷図仕上げ。 ・浸透実験池の水質調査（2月・3月）。 ・ヨシ群落図仕上げ。 <p>地学分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野外調査、室内作業を続行する。 ・野外調査6回（2回／月）。 <p>室内での調査整理・原稿下書き6回程度（2回／月）。</p> <p>自然部会2回（1月・3月）。</p> <p>動物分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥類の現地調査は主要定点の繰り返し調査、都市公園の冬鳥、海城と湖沼のカモ類のデータを蓄積する。 3回／月 ・魚類の現地調査は婚姻色、抱卵ハゼ類を中心に行う。 計3回 ・両生類などの未調査地区の現地補完調査。 8回 ・両生類地区別一覧表の作成と14種の分布図（仮）の作成。5回 ・市内と隣接地域に関連する千葉県立中央博物館自然誌研究報告書及び特別号のコピーと文献リストの作成。 3回 ・請西地区の13年間を記録写真1100枚の種類調べ(写真はガ幼虫・クモ・カメムシ・ハムシ・ゾウムシ・ハエなど)。 10回

【参考資料】

	<ul style="list-style-type: none"> ・ コウモリ調査を茅野七曲、川回しトンネルで行う。 2回 ・ 市立図書館蔵書のグループ分け。 10回 ・ 文献調査の種リストの並び替えと比較。 5回 ・ 調査結果の入力、まとめ作業。 5回／月 ・ 自然部会打ち合わせ。 ・ 計 30 回／一人 <p>植物分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央博との合同調査を月 1 回行う。 ・ Y-List を用いた種リストの作成の継続。 ・ 市域の貴重植物のリスト作成。 ・ 矢那地区、馬來田地区における常緑性シダ植物の生育状況調査。 ・ 矢那地区、馬來田地区における春植物、スミレ類等の調査。 ・ 計 1 5 回／一人
<p>これまでの取組に係る 課題点・懸案事項</p>	<p>環境分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川の変遷を知るための古地図の収集。 ・ 盤洲干潟現状植生図の作成。 <p>地学分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下総層群上部の清川層、横田層、木下層、姉崎層、常総層の 5 累層については、ほとんど露頭がなく、また露頭があってもそこにテフラが存在するかとなるとかなり困難。 <p>動物分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥類調査では、フクロウ類など夜行性鳥類、ねぐらを形成する鳥類、集団繁殖する鳥類の調査が不十分である。 ・ 魚類調査では、烏田川、畑沢川、溜池、小櫃川本流下郡橋付近、矢那川河口部・横水路が不十分である。タモ網以外の採集も検討する必要がある。 ・ 甲虫、カメムシ類などの専門家、協力者が必要である。 ・ 小型哺乳類の調査が不十分である。 ・ 近年の分類体系変化への対応（カタツムリ類、バッタ類など）。 ・ 動物及び自然と人の章の目次検討と、目次に基づく調査計画。 ・ 動物分野編集委員の合同調査を行う。（地区・クリ園ナシ園などの土地利用別） <p>植物分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中央博との合同調査とは別の個別地域調査を行いたいが、人員不足のため実施しにくい状況である。 ・ 近年の分類体系変化のため、種リストの整理方法について中央博と協議する必要がある。 ・ 重点箇所を各季節に調査したいが、時間が足りない。 ・ 林内が荒れて調査が困難な場所が増えている。
<p>平成 3 0 度の活動計画</p>	<p>環境分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海岸「横水路」の底生生物調査。

【参考資料】

<ul style="list-style-type: none">・盤洲干潟現状植生図作成。・市内の河川，湖沼，海岸等の水環境の変遷を地図にまとめる。・市内のため池名を調査し，地図にまとめる。・市内河川の環境変遷データをまとめる。・浸透実験池の水質特性について執筆。・盤洲干潟後背湿地のヨシ群落面積の変遷について執筆。 <p>地学分野</p> <ul style="list-style-type: none">・市域における下総層群のテフラ鍵層の所在調査および記載を行う。 (本年度は上部5累層について重点的に調査を進める)。・市史本論の下書きの下書きになる原稿を書き進める。 <ol style="list-style-type: none">1. 地層の各論。2. 貝化石産地の図示化と各産地における卓越種などの特徴。 <p>動物分野</p> <ul style="list-style-type: none">・鳥類、魚類、は虫類、両生類の調査不足地区の補完調査。・哺乳類種リストの中間まとめの実施。・鳥類、魚類の地区別確認種リスト、分布図の作成。・バッタ・セミ類の補完調査と中間まとめ、甲虫、カメムシ類等の採集と文献を含めて市内種リストの作成。・淡水陸産貝などの中間まとめ。・哺乳類などのアンケート調査の企画と実施。・研究者、愛好家の未発表過去データの提供依頼、聞き取りによる種リストへの追加。・文献調査資料から文献種リストをまとめる。・木更津市立図書館蔵書の文献データ読み替え・解説。・市史研究への投稿予定。 <ol style="list-style-type: none">1.木更津市の魚類-2（ハゼ亜目以外）。2.木更津市の鳥類-1（小櫃川河口干潟）。 <p>植物分野</p> <ul style="list-style-type: none">・中央博との合同調査を月1回行う。・合同調査にかかわる予備調査及び補完調査を行う。・本編目次項目を検討し、その項目案に沿った現地調査を開始する。・市域の貴重植物についてリストを作成する。・Y-Listを用いた種リストの作成を進める。・木更津市の水草について調査する(執筆予定)。・市内真里谷のシダ植物とカヤツリグサ科植物の生育状況調査。 (特に夏緑性シダと湿地のカヤツリグサ科植物を中心として)。

別表4 『木更津市史』刊行計画

※ ■■■ は、事前準備・調査および、経過観察調査等。

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	
他自治体市史編集状況調査	■	■																					
木更津市史編集基本構想の策定	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
市史編さん室	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
市史編さん室の解散																							
部会長・部会委員の選定																							
部会の設置																							
市史調査協力員募集・登録																							
市史研究																							
公開講座記録集																							
自然編(総論)																							
自然編(資料編)																							
史料編1(考古編1)																							
史料編2(考古編2)																							
史料編3(古代中世編)																							
史料編4(近世編1)																							
史料編5(近世編2)																							
史料編6(近現代編1)																							
史料編7(近現代編2)																							
史料編8(指定文化財編)																							
通史編1(原始古代編)																							
通史編2(中世編)																							
通史編3(近世編)																							
通史編4(近代編)																							
通史編5(現代編)																							
民俗調査報告書1～9																							
民俗編(総論)																							
民俗・芸能デジタルコンテンツ作成																							
目録・索引1～4(通史・史料編)																							
Web版作成・公開																							
刊行物数(市史編さんだより、デジタルコンテンツは除く)				4		2	3	4	3	4	3	3	5	4	4	4	4	5	10	1			

【参考資料】

新版『木更津市史』発刊計画について

平成42年度までに、通史編、史料編、民俗編、自然編から構成される全25巻を刊行します。

通史編 5巻

原始古代編	<u>平成42年度</u>
中世編	<u>平成40年度</u>
近世編	<u>平成42年度</u>
近代編	<u>平成41年度</u>
現代編	<u>平成41年度</u>

史料編 8巻

考古編1（旧石器・縄文・弥生・古墳時代）	<u>平成42年度</u>
考古編2（古代～近世）	<u>平成38年度</u>
古代中世編	<u>平成34年度</u>
近世編1（木更津、清川、金田、波岡、真舟）	<u>平成32年度</u>
近世編2（岩根、中郷、鎌足、富来田）	<u>平成37年度</u>
近現代編1（木更津、清川、金田、波岡、真舟）	<u>平成32年度</u>
近現代編2（岩根、中郷、鎌足、富来田）	<u>平成37年度</u>
指定文化財編	<u>平成42年度</u>

民俗編 10巻

総論	<u>平成42年度</u>
民俗調査報告書1（木更津）	<u>平成31年度</u>
民俗調査報告書2（清川）	<u>平成32年度</u>
民俗調査報告書3（金田）	<u>平成33年度</u>
民俗調査報告書4（波岡）	<u>平成34年度</u>
民俗調査報告書5（真舟）	<u>平成36年度</u>
民俗調査報告書6（岩根）	<u>平成37年度</u>
民俗調査報告書7（中郷）	<u>平成38年度</u>
民俗調査報告書8（鎌足）	<u>平成39年度</u>
民俗調査報告書9（富来田）	<u>平成42年度</u>

自然編 2巻

総論	<u>平成39年度</u>
資料編	<u>平成35年度</u>

その他

目録・索引 1～4巻	<u>平成40～42年度</u>
民俗編デジタルコンテンツ	<u>平成42年度</u>
（内容：中島梵天立て、木更津ばやし、桜井の獅子舞と市内の獅子神楽）	
通史編Web公開	<u>平成43年度</u>
民俗編（総論）Web公開	<u>平成43年度</u>
自然編（総論）Web公開	<u>平成43年度</u>
木更津市史研究（年1冊）	<u>平成29年度～</u>
公開講座記録集（年1冊）	<u>平成29年度～</u>

【参考資料】

木更津市史編集部会設置要綱（改正）

（設置）

第1条 木更津市史（以下「市史」という。）編集にあたり、編集に必要な資料の収集、調査研究及び執筆その他必要な作業（以下「調査等」という。）を行うため、木更津市史編集部会（以下「部会」という。）を設置する。

（組織）

第2条 部会は部会長、部会委員及び調査員（以下「委員等」という。）をもって組織する。

2 委員等は市史編集に関する識見の高い者のうちから、木更津市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する。

3 部会は次に掲げる専門の部会で組織されるものとし、専門の部会を必要に応じて置くものとする。

- （1） 考古部会
- （2） 古代部会
- （3） 中世部会
- （4） 近世部会
- （5） 近現代部会
- （6） 民俗部会
- （7） 自然部会
- （8） デジタル作業部会

（部会長）

第3条 専門の部会ごとに部会長を置く。

2 部会長はそれぞれ専門の部会を代表し、その会務を総理する。

3 部会長に事故があったとき又は部会長が欠けたときは、教育委員会が部会委員の中から職務を代理する者（以下「代理者」という。）を選任する。

（委員証の交付）

第4条 教育委員会は委員等に木更津市史編集部会（長・委員・調査員）証（別記様式。以下「委員証」という。）を交付し、委員等は調査等を行うときは委員証を携帯しなければならない。

（任期）

第5条 委員等の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 部会長が欠けた場合における代理者の任期は、前任者の残任期間とする。

（秘密保持）

第6条 委員等は調査等において知り得た個人情報又は資料を管理する者の同意を得られない情報について、他人に知らせ又はその目的の外に使用してはならない。その職を退いた後も、同様とする。

（会議）

第7条 部会長は部会を円滑に運営するため、教育委員会又は木更津市史編集委員会（以下「編集委員会」という。）委員長長の求めに応じて会議を開くものとする。

2 会議は部会長及び教育委員会職員が出席するものとし、前項の規定により編集委員会委員長長の求めに応じて開く場合は、市史編集委員会委員も出席する。

3 会議の議長は、部会長が行う。

（庶務）

第8条 部会の庶務は、教育委員会が行う。

【参考資料】

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成27年7月1日から施行する。

別記様式（第4条）

(表)

木更津市史編集部会（長・委員・調査員）証	
氏名	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 60px; margin: 0 auto; text-align: center; line-height: 60px;">写真</div>
(委嘱期間 年 月 日 ～ 年 月 日)	
上記の者に、木更津市史編集部会（長・委員・調査員）として委嘱します。	
年 月 日 木更津市教育委員会 ⑩	

(裏)

(注意事項)
次に掲げる場合は、木更津市史編集部会（長・委員・調査員）証を木更津市教育委員会へ返却してください。
(1)木更津市史編集に係る調査等が終了したとき
(2)木更津市史編集部会（長・委員・調査員）の委嘱期間が終了したとき
(3)木更津市史編集部会（長・委員・調査員）の辞退を申し出るとき
(連絡先)
〒 木更津市教育委員会 電話

【参考資料】

木更津市史編さん事業報償金等支給基準（改正）

（趣旨）

第1条 木更津市史編集部会設置要綱（平成27年6月8日木更津市教育委員会告示第5号。以下「要綱」という。）により委嘱する木更津市史編集部会長（以下「部会長」という。）、木更津市史編集部会委員（以下「部会委員」という。）及び木更津市史編集部会調査員（以下「調査員」という。）に支給する報償金及び費用弁償の支給基準（以下「報償金等」という。）について定めるものとする。

（報償金等の支出対象）

第2条 部会長、部会委員及び調査員が要綱の規定により次の活動（以下「活動」という。）を実施した場合は、報償金等を支給する。

(1)部会長

- ア 資料の収集及び整理
- イ 資料の調査及び研究
- ウ 会務の総理
- エ 木更津市史編集部会会議の開会
- オ その他必要な作業

(2)部会委員

- ア 資料の収集及び整理
- イ 資料の調査及び研究
- ウ その他必要な作業

(3)調査員

- ア 資料の収集及び整理
- イ 資料の調査
- ウ 部会長及び部会委員の補佐
- エ その他必要な作業

2 前項に規定する活動に従事する時間は1回につき2時間以上3時間程度とし、1日の活動の回数は2回までとする。

（報償金等）

第3条 前条に規定する活動に従事したときの報償金等の額は、1回につき別表1に定める額を乗じて得た額とし、片道2キロメートル以上の行程を交通機関または交通用具を利用して旅行をしたときに要する実費相当分を別に支払うものとする。なお、実費相当分の算定は木更津市一般職の臨時職員等の任用及び勤務条件に関する規則（平成14年3月22日規則第11号）第10条第3項第1号及び同項第2号に準じるものとし、運用については、以下のとおりとする。

- (1) 部会長、部会委員及び調査員が、居所（現に大学或いは博物館等の機関に所属する場合は、居所又は所属する機関のいずれかをいう。以下同じ。）のある市区町村から他の市区町村にある調査地へ旅行したとき。なお、調査地が広範囲にわたる場合は、最初の調査地で駅、バス停留所又は公民館等最寄りの公共施設を基準に算定する。
- (2) 本市に居所のある部会長、部会委員及び調査員が、本市内の調査地へ片道2キロメートル以上の行程を交通機関または交通用具を利用して旅行をしたとき。なお、調査地が広範囲にわたる場合は、最初の調査地で駅、バス停留所又は公民館等最寄りの公共施設を基準に算定する。
- (3) 交通用具を利用して旅行したときは、別記様式に規定する木更津市史編集部会日報に運行経

【参考資料】

路図を添付すること。

(4) 交通用具または公共交通機関を利用して旅行したときは、種類および区間を別記様式に規定する木更津市史編集部会日報の備考欄に記載すること。

(活動内容の確認)

第4条 部会長、部会委員及び調査員は、活動を実施した翌月の5日までに木更津市史編集部会日報（別記様式。以下「日報」という。）を提出する。

(報償金等の支給)

第5条 前項の規定により提出された日報により活動の実績を算定して、月単位で支給する。

(補足)

第6条 この基準に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が別に定める。

(その他)

第7条 この基準は、平成27年7月1日から適用する。

附 則

1 この基準は、平成29年 4月 1日から適用する。

附 則

1 この基準は、平成30年 4月 1日から適用する。

別表1

区 分	報 償 金 の 額
部 会 長	5, 0 0 0 円 (1回)
部 会 委 員	4, 0 0 0 円 (1回)
調 査 員	3, 0 0 0 円 (1回)

木更津市教育委員会

【参考資料】

木更津市史編集部会日報

木更津市史編集部会

部会

部会長（部会委員・調査員）

氏名

印

平成 年 月 日 ()
 午前・午後 時 ~ 午前・午後 時

文化課長	総括	担当者

調査（作業）場所	所在地
調査（作業）内容	
備考	<p>※木更津市の図書館・博物館・公民館等で資料の複写をした場合は、ご記入ください。 用紙サイズ 枚</p> <p>※公共交通機関または乗用車等の交通用具を利用したときは、駅等区間の名称または乗用車等運行経路図を記載もしくは添付してください。</p>